



# 山學新聞

山村学園高等学校

〒350-1113 埼玉県川越市田町16-2  
TEL.049-225-3585 FAX.049-222-5356  
URL http://www.yamamura.ac.jp/

編集発行／山村学園高等学校広報部

## 未来へはばたく君たちへ

高校生活最後の日が、いよいよやって来ました。三年前の入学式。皆は本校生として初めの一步を踏み出したわけですが、その時の一步と、今日のこの日の一步とを比べてみてください。おぼつかなく、ふわふわとした足取りが、今は自分の足でしっかりと大地を踏みしめる足取りに変わって、いることに気づくはずですよ。そして、これがそが三年間の成果なのです。学んだ事は人それぞれ違っても、(たとえ今はまだそれに気づいていないにしても)きつと何かをつかんでくれたことでしょう。

これから皆さんの前には、今までよりも「自由」な世界が広がります。しかし、「自由」とは、自分で考えて行動し、それに責任を取らなければならないということなんです。これからの人生は、さらに難しく、辛いものかもしれません。そんな時には、この言葉を思い出してください。

明治を代表する啓蒙思想家、福沢諭吉の著書に『西洋事情』があり、その中で「西洋事情」が「西洋事情」の本質を捉えています。本文では自由や平等を高く評価していますが、最も主張したのは「個人の独立」、論吉の唱える「独立自尊」の考えです。「一身独立して一国独立する事」という一章があります。「国」というものは、大きい国、小さい国、強い国、弱い国いろいろあるけれど、本来対等なものだ。しかし、その国の人民に独立の気力がないときはその国を維持できない。

### 独立自尊

校長 萩原重範

い」と述べています。論吉の言う「独立自尊」とは、自分が自立して他人を頼る気持を持たず、自身を尊重することです。「独立の気力なき者は国を思うこと(深切ならず)」と案じ、日本の国を滅ぼさないためには一人一人でも多く作らねばならない。慶應義塾大学はそうした論吉の思いを具体的に実践した場なのです。

論吉の生きた時代は、欧米先進国が圧倒的な軍事力

と外交交渉術を持って覇権を競い、アジアやアフリカの国々に対して、強引に植民地化を進めている真只中にありました。論吉は幕末にアメリカやヨーロッパに視察旅行に行き、その帰りにインドや香港で、インド人や中国人がイギリス人に奴隷のように扱われる様子や、国外に売られる大きな不安と危機を感じました。彼は一刻も早く国民に世界の現実に目を開かせ、自国の独立を守るために国民としてどうあるべきかを示そうと、著作と教育に生涯をかけた。論吉は自

誇るべきは一度も倒れないということではなく、倒れることに必ず起き上がることにある。柔道の基本練習の一つに「受け身」の練習があり、これは投げ飛ばされ倒される練習、いわば「負けの練習」とも言えるでしょう。格好良く勝つことよりも無様(ぶざま)に投げられて負けること、これからの人生はそんな事の方がむしろ多かったら多いかもしれませぬ。しかしたとえ投げられ、倒されてもその度に何度でも立ち上がり、ファイティングポーズをとりましょう。人生において、まだまだ試合は続きます。本当の負けとは勝負をあきらめた時なのです。

これから巣立っていく皆さんは、結果や外見の格好良さばかりを追い求めるのではなく、人にならなっていくべきではありません。失敗も成功も糧とし、芯のあるたくましい人に成長してください。そして、相手がいるからこそ



宮本 真花 特別進学文理科コース / ぶじみ野市立大井中学校出身

進学先  
進学先を決めた時期  
進路を決める際に相談した人  
将来の夢  
高校生活を振り返って後輩に伝えたいこと

受け身ができ、自分が強くなることを忘れず、周りへの感謝の気持ち、また投げられた時の他人の痛みや苦しみが理解できる暖かい気持ちを持ち続けてください。

分個人のことよりも、まず国のことを強く思ったので。今、国際社会を見たとき、豊かさを求める国家間の競争は熾烈です。政治外交から経済、科学技術の研究開発にいたるまであらゆる分野でのしを削っています。教育の分野では、PISA(経済学協同調査)が実施する学力低下がとまりません。若者の学力は国力に反映されるものから、この国の将来を考えると大きな問題です。中国はじめアジアの若者たちは学ぶことに意欲的です。どの国も若者

決めておくと思いいまや生活リズムを早いうちに決めておくと思いいまや上手く息抜きをすることや大切なことであり、体調管理にもつながります。また、他人と自分を比べ過ぎないことも必要です。目指す大学、学部は皆バラバラです。勉強すべき内容も変わります。自分に何が必要なのかを考え、勉強してみたい。分からなくなりました。

埼玉県立大学  
保健医療福祉学部  
看護学科  
一年生の秋頃  
両親・担任の先生  
看護師  
高校の三年間は授業、受験対策の繰り返しであつたという印象が強い。授業の予習や小テストの勉強に追われていました。そんな中でも、クラス目標として「漢字テスト全員百点」という目標を掲げ、実際に達成できたことは記憶に残っています。また、体育祭や文化祭などの学校行事は良いアクセントとなり、友達との思い出を作る良い機会にもなりました。自分なりの時間の使い方や生活リズムを早いうちに決めておくと思いいまや上手く息抜きをすることや大切なことであり、体調管理にもつながります。また、他人と自分を比べ過ぎないことも必要です。目指す大学、学部は皆バラバラです。勉強すべき内容も変わります。自分に何が必要なのかを考え、勉強してみたい。分からなくなりました。

卒業生の皆さん、これからが人生本番です。自分作り、自立に向けた真の挑戦が始まりますが、「独立自尊」の気概を持って頑張り続けてください。きっと本校で過ごした三年間が勇気と力を与えてくれると思います。いつの日か、皆さんが周囲の期待に応え、社会に有為な人材として活躍されることを楽しみにしています。これから学園は皆さんのことを祈ります。

昭和女子大学生活科学部  
環境デザイン学科  
二年生の冬頃  
両親・友人  
物の造形に関わりたいう  
高校三年間はあつたという  
間でした。勉強の面では色々壁にぶつかるともありませんでしたが、一緒に頑張り続けてきた選抜クラスの皆さんももちろん、応援してくれる友人や先生方の支えのおかげで乗り越えることができました。本当にありがとうございます。

福島 桃 総合進学コース選抜クラス / 所沢市立富岡中学校出身  
ら、先生方はいつでもサポートしてくださるので、一人で悩まず相談することも大切です。

今回は、『二匹のカエル』の話をします。二匹のカエルが牛乳の入ったバケツに落ちてしまつた。這い上がるつもりですが、バケツの縁まで高く、壁はつるつるしてどうにもならない。一方の、あきらめの早いカエルは言った。「もうだめだ。僕たちはここから出られないよ」として目を

閉じ、バケツの底に沈んでいつて溺れ死んだ。もう一匹のあきらめの悪いカエルは、「いやだ。死にたくないよ」。何とかならないのか。と、とにかく泳ぎまわり、出口を探したり、跳び上がった。そして、そここうするうちに、いつの間にか元のミルクが固くなって来た。かきまわされた牛乳の表面がバケツに変わっていたのだ。カエルはその上から跳び上がった。バケツから出ることができた。(ステイビー・クレオ・ダービック著 Discoverより)

前島 恵成 総合進学コース進学クラス / 川越市立南古谷中学校出身  
立教大学文学部史学科  
三年生  
両親・担任の先生  
学芸員  
部活動と勉強の両立を目指し、充実した高校生活を送りたいです。部活動を通して、自分一人ではなく周りの人に支えられて生きていくというのを改めて実感しました。そして仲間の大切さも学びました。皆さんに出会えたことに感謝しています。三年間ありがとうございました。

よく、失敗して嫌な気分になるのはいやだからと、何もしない人がいます。とりあえずやらなければ、前進もしない代わりに後退もしない現状維持だと思っているのかもしれないが、それは違います。やるかやらないか迷ったら、やってみれば、失敗することもあるでしょう。しかし、このやり方は失敗すると知ることが一歩前進なのです。人が後悔するのは、やってみて失敗した時ではなく、やらなかった時の方です。

この話から、皆さんは何を感じ何を学びましたか? あきらめずに、もがいている内に、解決策が見つかる時もある! 何もせずに立ち止まっているのではなく、かつこ悪くてもなりふりかまわず、動き回ったことで、よい結果が出ることもあります。問題が起きた時、今まで以上に最善を尽くすならば、問題のお陰で成長できるのかもしれない。ピンチはチャンスとは、ピンチの時に、死ぬ気で頑張る人にも、あてはまる言葉なのかもしれません。よく、失敗して嫌な気分になるのはいやだからと、何もしない人がいます。とりあえずやらなければ、前進もしない代わりに後退もしない現状維持だと思っているのかもしれないが、それは違います。やるかやらないか迷ったら、やってみれば、失敗することもあるでしょう。しかし、このやり方は失敗すると知ることが一歩前進なのです。人が後悔するのは、やってみて失敗した時ではなく、やらなかった時の方です。

閉じ、バケツの底に沈んでいつて溺れ死んだ。もう一匹のあきらめの悪いカエルは、「いやだ。死にたくないよ」。何とかならないのか。と、とにかく泳ぎまわり、出口を探したり、跳び上がった。そして、そここうするうちに、いつの間にか元のミルクが固くなって来た。かきまわされた牛乳の表面がバケツに変わっていたのだ。カエルはその上から跳び上がった。バケツから出ることができた。(ステイビー・クレオ・ダービック著 Discoverより)

# 女子バスケットボール部キャプテンとして振り返って

増岡 加奈子(人間市立金子中出身)

私は3年間女子バスケットボール部に所属していました。小学生の時からバスケットを始めて、山村のバスケット部にずっと憧れていました。その伝統あるバスケット部の部長になると決まった時は、チームをまとめる力は自分がないと思っていたので正直不安な思いでいっぱいでした。自分たちで決めた「県全冠・全国ベスト8以上」の目標をクリアするために先生方のご指導のもと、日々の練習に励みました。毎日の練習はとてもハードでしたが周りの人たちの支えがあったので、乗り越えることができたと思っています。

先輩方の記録を越えたいという気持ちを1人ひとりが強く持っていたので、自然とチームがまとまり目標以上の結果を残すことができました。今思うとキャプテンがチームをまとめたのではなく、同じ目標に向かう気持ちがあったことがチームを成長させたのだと思います。



この3年間で嬉しい時は共に喜び、辛い時には支え合えるかけがえのない仲間に出会うことができたことが私の誇りです。



総受験者数は昨年よりも約200名多い2163名でした。特に入試初日は受験生が多かったため、在校生にも協力してもらい、無事試験を終えることができました。

1月22日(火)〜24日(木)、2月10日の計4日間にわたり、本校の入学試験が行われました。

## 平成25年度 入学試験

ました。希望に満ちた多くの新生を迎え入れることを心待ちにしています。

## 平成25年度 大学合格速報

- 埼玉県立大(1)・青山学院大(6)・亜細亜大(17)・跡見学園女子大(8)・桜美林大(2)・大妻女子大(4)・学習院女子大(4)・学習院大(2)・神奈川大(1)・神田外語大(2)・関東学院大(2)・共立女子大(6)・杏林大(5)・國學院大(2)・国士館大(8)・駒沢女子大(1)・駒澤大(17)・埼玉医科大学(6)・埼玉学園大(3)・埼玉工業大(4)・実践女子大(5)・芝浦工業大(3)・十文字学園女子大(13)・淑徳大(2)・順天堂大(2)・城西大(12)・上智大(1)・昭和女子大(11)・女子栄養大(6)・白梅学園大(1)・

- 杉野服飾大(1)・駿河台大(4)・成蹊大(7)・成城大(4)・清泉女子大(2)・聖徳大(2)・専修大(2)・創価大(2)・大正大(3)・大東文化大(31)・拓殖大(8)・千葉商科大(1)・中央大(2)・帝京大(11)・帝京平成大(9)・東家家政学院大(2)・東京家政大(8)・東京経済大(7)・東京工大(2)・東京工芸大(1)・東京国際大(14)・東京情報大(1)・東京女子大(7)・東成徳大(1)・東京電機大(11)・東京理科大(4)・東洋学園大(2)・東洋大(31)・獨協大(5)・日本医療科学大(4)・日本女子体育大(3)・日本女子大(10)・日本大(26)・日本保健医療大(3)・文化学園大(3)・文京学院大(10)・文教大(5)・法政大(8)・武蔵大(6)・武蔵野大(4)・明治大(8)・明治薬科大(1)・明星大(10)・目白大(7)・立教大(8)・立正大(2) など

# 全国私学テニス大会

高橋 唯(2年/練馬区立大泉学園校出身)

私は1月13・14日の2日間、兵庫県三木市のピーンズドームというところで行われた全国私学テニス大会に出場しました。結果は喜んでいいのかわからない準優勝でした。全国準優勝ですから、立派な戦績を残せたと思います。でも、決勝戦...とても悔いの残る試合をしてしまいました。決勝戦は他の人みんなが見ているセンターコートで緊張感の中行いました。顧問の吉村先生も応援してくださいましたが期待に応えることはできませんでした。勝てる試合だったので後悔はしていませんが、この試合でこれから自分が磨かなければいけないこと、次勝つにはどのようにしたらいいかといった、今後自分に役立つことを学べたと思っています。

春からまた全国大会につながる予選が始まってきます。この全国準優勝というのを誇りに思い、この大会での経験を生かし、また全国という舞台に立ち、活躍したいと思っています。

この大会で素晴らしい戦績を残せたのは吉村先生、学校、コーチ、親のサポートのおかげです。本当に感謝しています。これからもこの気持ちを忘れずに頑張っていきたいと思っています。



2月23日(土)、生徒会主催の送別会が行われました。生徒会執行部を中心として、各クラスの送別会実行委員が時間をかけて作った装飾に彩られ、たいへん盛り上がった会となりました。



## 送別会

まず先陣を切ったのは軽音楽部。三バンドが一気に会場を熱狂させてくれました。次に登場したパトントン部とダンス部は、全国トップクラスの演技で魅了しました。そして毎年皆さんが最も楽しみにしている、三学年の教員一人ひとりからのビデオレターでは、様々な想いの詰まったメッセージが卒業生に送られ、目に涙を浮かべる生徒もいました。

会の終盤には、吹奏楽部の見事な演奏、クライマックスは三学年教員団による趣向を凝らしたステージ発表と、内容の濃い時間があつという間に過ぎていきました。卒業を目前に控えたこの日、高校生活最後の学校行事を、生徒・教員とも存分に楽しんでいました。

## 部活動報告

- 【女子バスケットボール部】埼玉県総合バスケットボール選手権大会 (2年連続2回目) 優勝
- 山村学園 86・64 メディセオ
- ウィンターカップ2012 (実業団) 第4位
- 県民総合体育大会バスケットボール大会兼埼玉県高等学校バスケットボール新人大会 (決勝リーグ 3勝0敗) 優勝
- 第23回関東高等学校バスケットボール新人大会 ベスト8
- 【バトントン部】第47回マーチングバンド・バトントンウォーリング関東大会バトントンウォーリング部門 優勝
- 高等学校の部ボンボン編成大会 全国大会出場
- 【金賞】全国大会出場
- 第28回埼玉県高等学校マーチングバンド・バトントンウォーリング大会 優勝
- 【硬式テニス部】埼玉県新人大会団体戦 優勝
- 山村学園A 優勝
- 山村学園B 優勝
- 山村学園 優勝
- 全国私立高等学校テニス選手権 シングルス 高橋唯(2年/練馬区立大泉学園校中) 優勝
- 【ラクロス部】第10回関東中高女子ラクロス秋季関東大会 (Autumn Cup 2012) Aブロック 3位
- Winter Open 2012 決勝トーナメント ベスト8



チングバンド・バトントンウォーリング大会 優勝
- 第40回記念バトントンウォーリング大会 優勝
- 高等学校の部ボンボン編成(大編成) グランプリ戦進出(上位3団体のみが出場) 優勝
- USA Regional Competition 2013 東京大会 Song Reading/Pompey部門 高校編成(arge)出場 全国大会出場決定
- 【ダンス部】USA Regional Competition 2013 東京大会 Song Reading/Pompey部門 高校編成(arge)出場 全国大会出場決定
- 【バドミントン部】埼玉県ジュニア年齢別シングルス大会 16才女子シングルス 第9位 武笠 小那美(2年/さいたま市立指扇中)
- 15才女子シングルス 第9位 小川 優花(1年/坂戸市立住吉中)
- 埼玉県新人大会 女子団体 第9位
- 埼玉県西部支部新人大会 女子団体 優勝
- 【ソフトボール部】県民総合体育大会兼ソフトボール新人大会 県大会出場
- 【男子バスケットボール部】県民総合体育大会兼埼玉県高等学校バスケットボール競技新人大会県大会出場

### 掲示板

- 3月4日(月)〜7日(木) 1・2年後期期末考査
- 11日(月) 登校日
- 15日(金) 登校日
- 16日(土) 卒業生が語る会
- 16日(土) 新入生入学準備説明会
- 21日(木) 後期終業式
- 22日(金) 新2・3年教科書販売
- 23日(土) 進学ゼミ(26日(火)新1年教科書販売)
- 4月5日(金) 前期始業式
- 6日(土) 入学式

- 【女子サッカー部】第21回全日本高校女子サッカー選手権大会 関東大会出場
- 【少林寺拳法部】第16回埼玉県高校少林寺拳法大会 女子自由組演武の部 優勝
- 新井(2年/所沢市立三ヶ島中)・中村(1年/所沢市立小手指中)組 関東選抜大会及び全国高校選抜大会出場
- 【バドミントン部】埼玉県ジュニア年齢別シングルス大会 16才女子シングルス 第9位 武笠 小那美(2年/さいたま市立指扇中)
- 15才女子シングルス 第9位 小川 優花(1年/坂戸市立住吉中)
- 埼玉県新人大会 女子団体 第9位
- 埼玉県西部支部新人大会 女子団体 優勝
- 【ソフトボール部】県民総合体育大会兼ソフトボール新人大会 県大会出場
- 【男子バスケットボール部】県民総合体育大会兼埼玉県高等学校バスケットボール競技新人大会県大会出場